

那覇国際高等学校

学校だより 第20号



合唱部金賞受賞 全国大会へ派遣！

おめでとう！



合唱部部長の天久愛詠です。兼部している部員も多く、全員が揃っての練習が少ない中で、金賞受賞、そして全国大会派遣を取ることができたのは、部員一人一人の努力のおかげだと思います。これからある全国大会に向けて、より一層頑張っていきます。

沖縄県合唱連盟主催による「第18回沖縄県ヴォーカルアンサンブル・コンテスト」が2月9日、浦添市「てだこホール」にて実施され、本校合唱部が「女声合唱とピアノのための【雪】」の曲目にて見事、金賞を受賞し、3月20日から福島県にて開催される「第18回声楽アンサンブル・コンテスト全国大会」へ派遣されることになりました。

野外実習新聞作成！

1年生 社会科フィールド・ワーク新聞づくり優秀作品！

最優秀賞 佐藤由佳(1年1組)



最優秀賞 古牧実紗(1年2組)

優秀賞 赤嶺美羽(1年5組)



祝 陸上全国大会 5位！



喜久里彩吹さん(3年3組)

高校生活最後の全国大会、楽しく跳躍する事ができました。大学では、人として競技者として更にもう1段階成長できるように頑張ります！那覇国超最高でした！ありがとうございました！

「2025日本室内陸上競技大会大阪大会」が2月1日実施され、「U20女子三段跳び」競技で喜久里彩吹さん(3年3組)が記録11m91cmで5位に入賞し、日本陸上競技連盟より表彰されました。

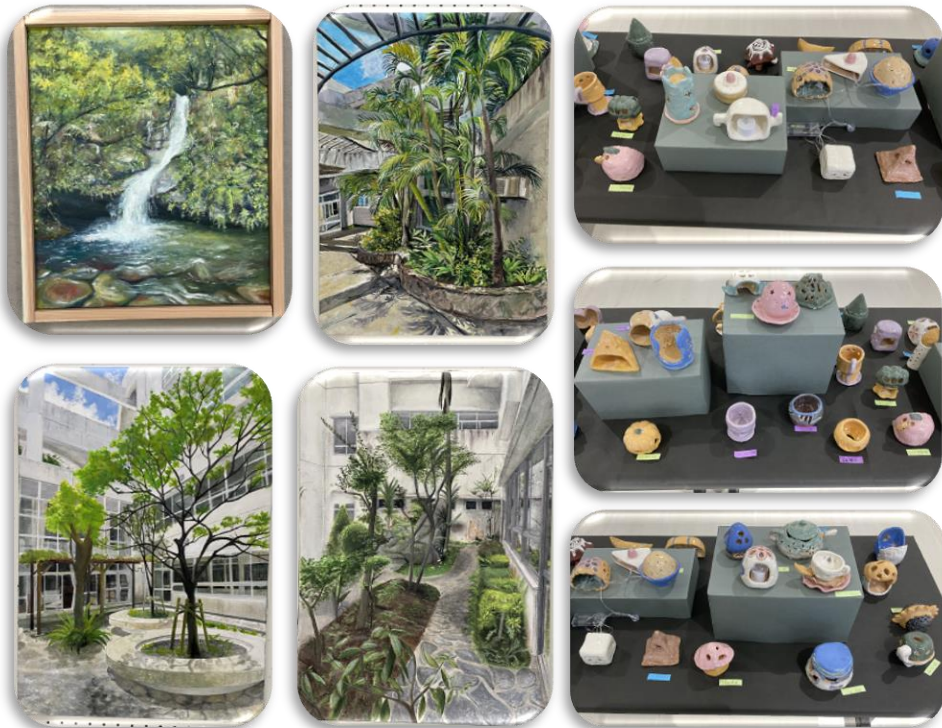
祝



おきなわマラソン 赤嶺さん高校女子1位！

2月16日に沖縄市の県総合運動公園を発着点に開催された「第30回おきなわマラソン」のフル一般部門において、本校の赤嶺美羽さん(1年5組)が「高校女子の部」で見事、1位に輝きました。赤嶺さんはフルマラソン2回目で前回よりタイムを更新しての完走でした。おめでとうございます。

生徒美術作品紹介！



県相撲選手権大会準優勝！



狩俣弥央望さん(2年5組)

今回の大会は修学旅行後の大会だったこともあり十分に調整できず本調子ではなかったけど、今年度最後の大会だったので全力で臨みました。3年生も最後の引退試合で気合い入っていたので緊張はしたけど、自分の相撲をとることができたので良かったです。

教職員平和駅伝大会 健闘！



表彰を受ける金城みゆ先生

「第74回教職員平和駅伝大会」が2月1日、糸満市の平和公園祈念公園をメイン会場として実施され、本校職員チームも参加し、保健・体育科の金城みゆ先生が区間3位と健闘しました。

今後の行事予定

- 2月
20日(木) 1年進路集会
21日(金) 統一LHR 全体清掃
22日(土) PTA美化作業
23日(日) 天皇誕生日
24日(月) 天皇誕生日振替休日
25日(火) 卒業式振替休日
28日(金) 卒業式予行演習
- 3月
1日(土) 第25回卒業式
2日(日) 米国姉妹校短期研修(~15日)
3日(月) 高校入試会場設営
4日(火) 高校入試1日目 自宅学習①
5日(水) 高校入試2日目 自宅学習②
6日(木) 自宅学習③
7日(金) 自宅学習④

合格体験記 19 (筑波大学・医学群・看護学類 学校推薦型選抜)



(1)この大学(学科)を選んだ理由

私にはグローバルに考え行動できる保健師になるという夢があり、オープンキャンパスに行った際この夢に最も近づけると確信したのが筑波大学医学群看護学類でした。附属病院や多数の研究機関が周辺にあり最先端の医療を学ぶことができる、地域医療を国内外で学ぶことができるという看護学類の特色に大きな魅力を感じました。それだけでなく筑波大学では心理学や教育学等興味のある他学群・他学類の授業も受講し、看護に限らない多角的な視点を培うことができる上、国際色豊かで多くの留学生と互いに刺激を受けながら研究に励むこともできます。このような国や学域を越えた多様な人達と横断的かつ深く学ぶことのできる環境の中で視野を広げ、ひとりの人間としても医療人としても成長していきたいと強く思うようになったことが、私が筑波大学医学群看護学類を選んだ理由です。

(2)高校在学中の勉強方法について

<1・2年> 私は特に小テストと誤答レポートを大切にしていました。英単語など暗記系は短期間で一周しそれを何度も上塗りして覚えるようにしていたおかげでその場しのぎの短期記憶ではなく長期記憶として定着し、受験期もスムーズに演習を進められたのだと思います。模試や定期テストの誤答レポートは記憶が鮮明な3日以内に全教科必ずすると決めていました。特に間違えた問題・正解したけど即決出来なかった問題は関連する情報を書き込み、用語や説明・要因を視覚的にパッと見てわかるようにまとめて自分だけの参考書を作っていました。これによって間違いパターンを分析できるだけでなく1つの問題からいくつもの学びを得られるので効率重視の私にはとても合っていました。どちらも自分のためになり、成績にも反映されるのでコツコツ頑張っていました。

<受験期> 一般入試対策と推薦対策を並行して行うのは大変でしたが、自分の受験スケジュールに合わせて計画を立て、一石何鳥にもなるような対策を心がけていました。ここでは推薦入試対策について書きたいと思っています。私が推薦対策を本格的に始めたのは6月からで、6・7・8月は志望理由書の作成と小論文・面接の傾向分析、9月・10月上旬は小論文対策、10月下旬・11月は面接練習をして受験に臨みました。

(3)後輩へのアドバイス

後輩の皆さんには、心がけてほしいことが3つあります。①迷った時は必ず挑戦 ②自分のペースを保つ ③運を掴むための準備
最後に、那覇国には互いに支え合いながら一緒に頑張れる仲間がいます。豊富な経験を活かして一緒に悩み、励ましてくださる先生方がいます。そしてどんなことにも挑戦できる環境があります。この恵まれた環境と周りの人への感謝を忘れずに、皆さんも素敵な未来に向かって合格を勝ち取ってください。心より応援しています！
本校25期生(現3年生) 女性

名言・名句

I worked hard.
Anyone who works
as hard as I did
can achieve
the same results.

私は懸命に仕事に打ち込んだ。
私と同じくらい懸命に努力すれば、
誰でも同じ成果を残す
ことができるだろう。



【解説】

これはドイツの作曲家・オルガニストでありバロック音楽の重要な作曲家の一人であるヨハン・セバスティアン・バッハの言葉である。日本の音楽教育では「音楽の父」と称され、鍵盤楽器の演奏家としても高名であり、即興演奏の大家として知られていました。

